



ザンビアの経済概況・月報(2013年3月)

主なマクロ経済指標	2012年	2013年
・人口 (百万人)	13.82	13.9 (2013)*1
・人口増加率 (%)	2.8	2.8 (2000-2010)
・失業率 (%)	13.0 (2010)	-
・実質GDP (百万米ドル)	20,680	-
・名目GDP (百万米ドル)	23,680	21,360 (2013)*1
・GDP成長率 (%)	6.1 ~ 6.5	6.9 (2013)*1
・一人当たりGNI (米ドル)	1,358*2	-
・インフレ率 (%)	6.57	6.6 (Mar)
・消費者物価指数 (2009年=100)	126.1 (Dec)	127.3 (Feb)
・貿易収支 (百万米ドル)	1,067	25.00 (Feb)*3
・対日貿易収支 (百万米ドル)	-97.48*5	-7.56 (Feb)*4
・輸出 (総額, 百万米ドル)*6	8,346	833.68 (Feb)*3
・対日輸出 (百万米ドル)	50.45*5	2.89 (Feb)*4
・輸入 (総額, 百万米ドル)*6	7,279	808.49 (Feb)*3
・対日輸入 (百万米ドル)	147.94*5	10.45 (Feb)*4
・経常収支 (百万米ドル)	-1,048	-
・対外直接投資 (百万米ドル)	3,448 (2011)	-
・対内直接投資 (百万米ドル)	12,932 (2011)	-
・金・外貨準備高 (百万米ドル)	2,616 (2012末)	-
・対外債務残高 (百万米ドル)	5,445 (2012末)	-
・為替レート (対米ドル)	5,100 ZMK	5.369 ZMW(Mar)*6
・主要政策金利 (現行, 年利%)	9.09	9.25
・地方電化普及率 (%)	3.1 (2004 est)	4.5 (2010 est)

※ () 内の年月は、その年あるいは月の確定値／予測値

※ 小数点第3位以下四捨五入

*1	エコノミスト・インテリジェンス・ユニット(EIU)の予測値
*2	購買力平価(PPP)による一人当たりGNI
*3	ザンビア中央統計局(CSO)の数値。 1USD=5.321 ZMW (2013年2月のザンビア中央銀行為替相場)を用いて換算
*4	財務省貿易統計の数値。 1USD=84円 (2013年2月の日銀基準外国為替相場)を用いて換算
*3'	<2013年2月>
/4'	主要輸出品目: 銅/コバルト, 酒類, たばこ, 綿花 主要貿易相手国(輸出): スイス 35.0%, 中国 21.5%, 南アフリカ 14.5%, コンゴ(民) 9.6%, マラウイ 5.2% 主要輸入品目: 銅/コバルト関連品, 機械類, 輸送機器, 油製品, 繊維 主要貿易相手国(輸入): 南アフリカ 29.6%, コンゴ(民) 14.2%, 中国 7.9%, ケニア 6.5%, 英国 5.4%
*5	財務省貿易統計の数値。 1USD=79円 (2012年(平均値)の日銀基準外国為替相場)を用いて換算
*6	2013年1月1日から通貨クワチャのデノミネーションが実施され、1,000 ZMK (旧通貨) = 1 ZMW (新通貨)へと通貨単位が変更となった。

<ザンビアの税制度> (出典: ザンビア歳入庁)

法人税: 35%

但し、農業及び非伝統的産品(銅やコバルトを除く全ての輸出品)に係る収益に対しては**15%**の課税、ルサカ証券取引所に上場している企業に対しては**33%**課税。また、25万クワチャを超える収益のある金融機関に対しては、**40%**課税。

付加価値税(VAT): 16%

特定の品目・サービスについては、ゼロ関税あるいは免税。VATの登録は、1995年のVAT法第4条に定められているとおり、標準関税及びゼロ関税のモノ・サービスを扱い、課税可能な粗利益が年間20万クワチャを超える全ての販売業者及び供給業者に義務付けられる。(粗利益が年間20万クワチャを下回る業者に関しては、登録は任意。)

関税: 輸入関税は以下3分類

25%	最終製品
15%	半製品
0-5%	原材料, 資本財

主要な経済ニュース(3月)

・“ザンビア国営航空、再開の可能性 - ヤルマ運輸公共事業調達通信大臣” (Daily, 1日)

クリストファー・ヤルマ運輸公共事業調達通信大臣は、外資企業5社が、ザンビア国営航空の立ち上げ計画においてザンビア政府と提携することに関心を示している、と述べた。

・“ザンビア中央銀行、鍵となる経済セクターへの支援を促す” (Daily, 1日)

ザンビア中央銀行(BOZ)は商業銀行に対して、給与収入のある個人への貸出にばかり注力するのではなく、主要な経済セクターへの支援を目指して主要な役割を果たすよう促した。

・“ザンビア政府、日本との友好関係を称賛” (Times, 3日)

ニコラス・バンダ地方自治・住宅省副大臣は、ザンビアと日本の二国間における友好関係につき、現PF政権は感謝している、と述べた。

・“2社のモバイル・サービス提供会社を受け入れ可能” (Daily, 4日)

ザンビア情報通信技術庁(ZICTA)は、ザンビアで4番目、5番目となるモバイル・サービス・プロバイダーを受け入れる余地がある、と述べた。(注: 現在、ザンビアで事業を実施しているモバイル・サービス提供会社は、Zamtel, Airtel Zambia, MTNの3社。)

・“ドイツ政府、ザンビアに30万ユーロの支援を約束” (Post, 5日)

ドイツ政府は2013年、ザンビア国民議会に対し、市民への啓発活動に係る30万ユーロを支援すると発表した。

・“JICA、40人の農家を育成” (Times, 5日)

JICAはザンビアにおける穀物生産を増加させることを目指し、カフエ郡チクピ・キャンプにて、コメを生産する40以上の小規模農家に対する訓練を実施した。

・“ZCF、地方部の経済圏移行に向けて、1億米ドル投入” (Times, 7日)

ザンビア協同組合連盟(ZCF)は、地方部を経済圏に移行することを目的とする5カ年計画の一環として、近々産業化プロセスに着手すると述べた。

・“脱税対策のための新法令案” (Daily, 7日)

ザンビア政府は、国内外のメディアにより報告されている納税逃れ、脱税を防止し、外国通貨の歳入損失を防ぐための抜本的な法令案を作成した。(注: 同法案は、ザンビア中央銀行法の改訂を目指す、Bank of Zambia Amendment Act 2013。同法が執行されれば、従来失われていた年間何十億米ドルもの歳入を取り戻せるとの期待をザンビア政府は寄せている。)

・“竹製フレームを用いた自転車の輸出” (Times, 7日)

国内の製造企業であるザムバイク(Zambikes)社は、昨年、世界5カ国以上に合計360もの自転車を輸出したと発表した。輸出先は、日本、ドイツ、南アフリカ、カナダ、オーストラリアなど。

・“ザンビア開発庁(ZDA)、中堅中小企業(SMEs)に事業拡大を促す” (Daily, 11日)

ザンビア開発庁(ZDA)は、中堅中小企業(SMEs)がザンビア国内で雇用を創出・強化するポテンシャルのある事業に参入する必要がある、と述べた。

・“ザンビア、経済成長の伸びとインフレ率低下の見込み” (Times, 13日)

本2013年半期におけるザンビア経済見通しは引き続き好ましいものとなる見込み。国内パフォーマンスの良さと、ザンビア中央銀行(BOZ)による強固な金融政策に起因するもの。

・“ザンビア政府、カナダ政府との間で鉱業に係る投資協定を締結” (Daily, 14日)

ザンビア政府とカナダ政府は、鉱業セクターにおいて、海外投資促進及び保護協定(FIPA: Foreign Investment Promotion and Protection Agreement)に署名をした。

・“世銀、ザンビアの説明責任に係る姿勢を称賛” (Post, 18日)

世銀は、説明責任、透明性、グッド・ガバナンスが公共政策の賢明なマネジメントにとって重要であるとのザンビア政府の認識を称賛した。

・“世銀、ザンビアの国家パートナーシップ戦略 2013-2016 を承認” (Daily, 18日)

世銀グループは、2013 - 2016年にかけて、ザンビアへの国家パートナーシップ戦略(CPS)を承認した。同戦略は、産業多角化と民間セクター開発を促すものの。

・“アフリカとアジアの貿易回廊が、ザンビア経済成長を促す” (Post, 21日)

ミズィンガ・メル・スタンダード・チャータード銀行ザンビア支店長は、アフリカとアジアとの間の貿易回廊の発展は、更なるザンビア経済の成長を促すだろうと述べた。